

平成25年3月23日（土）

厚生労働省委託事業 在宅医療連携拠点事業 成果報告会

高齢化率の高い地域における在宅医療への  
取組み ～地域再生（興し）に向けて～

## 【鹿児島県】

社団法人 肝属郡医師会  
肝属郡医師会立病院 坂上陽一



# 【当地域の特性】人口、高齢化率、医療介護資源



【拠点事業対象地域】 肝属郡錦江町、南大隅町 【人口】約1.7万人

## ◆高齢化率

南大隅町 **43.3%**（県**1**位） 錦江町 **40%**（県**2**位）

## ◆在宅医療従事者の人材不足

【在宅医】南大隅町佐多地区は**1**箇所の診療所のみ

【勤務医】2次救急病院は**1**箇所のみ

【在宅支援診療所】南大隅町佐多地区に**1**箇所のみ

【訪看ステーション】24時間体制事業所は両町併せ**1**箇所のみ

高齢、過疎及び人材不足が進む中で**地域医療崩壊**が懸念され、必要に迫られ、拠点事業を始めた。都市部とは異なり「**人**」も「**資源**」も「**サービス**」も**少ない**状況で、どのような形で地域を支えていけばよいのか。**地域全体が困っている**ので地域を支える体制作りを強化する**システム作り**が**急務**の課題である。

# 主な取組

- 1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
- 2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援
- 3) 効率的な医療提供のための多職種連携
- 4) 地域住民への普及啓発活動
- 5) 医療、介護従事者を対象とした研修会

# 1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ① 全関係機関へのアンケート調査
- ② 連絡協議会の開催（月1回）
- ③ ケースを通じた課題解決

# 1) -②在宅医療連携連絡協議会 (原則毎月開催)

## 主なテーマ

- |   |       |                   |       |
|---|-------|-------------------|-------|
| ① | 6/27  | 事業説明、意見交換会        | (61名) |
| ② | 7/31  | 在宅訪問診療の現状と課題      | (54名) |
| ③ | 8/10  | 口腔ケアの現状と課題        | (40名) |
| ④ | 8/30  | 医療機関と地域包括支援センター   | (49名) |
| ⑤ | 9/25  | 在宅及び施設における看取り     | (37名) |
| ⑥ | 10/31 | 地域における口腔ケアについて    | (38名) |
| ⑦ | 11/28 | 在宅人工呼吸器患者の療養生活    | (59名) |
| ⑧ | 1/16  | 病院と関係機関における課題と解決策 | (27名) |
| ⑨ | 2/26  | 認知症ケアに対する地域での取組   | (58名) |
| ⑩ | 3/15  | 事業報告、意見交換会        | (63名) |

# 1) -②在宅医療連携連絡協議会



# 1) -②「顔の見える関係」を通じた課題に対する成果

## 【医師会会員（医師）】

面会が出来ない医師会会員と面会が出来るようになり、在宅への取組を継続して頂き、協議会時には「人材不足が地域の健全化・発展を阻害する事になる、自分達の役割は大」。

## 【薬剤師】

他医師会会員との連携関係ができ、在宅訪問の実績へ繋がった。

## 【歯科医師、歯科衛生士】

口腔ケアに対する取り組みがなかったが、歯科医師と関わることで、研修会の講師や実技指導の協力が得られ、普及に向けた取り組みが推進された。

## 【行政】

医師会や医師会立病院医師とかかわることで、医療との関わりや連携も強化され、一つの例として介護保険主治医意見書の作成時期が以前より早まり、住民サービスとしても助かる。

# 1) - ③事例を通じた課題解決

## 在宅人工呼吸器療養生活における多職種連携

① 当院医師、歯科医師、薬剤師による在宅訪問診療



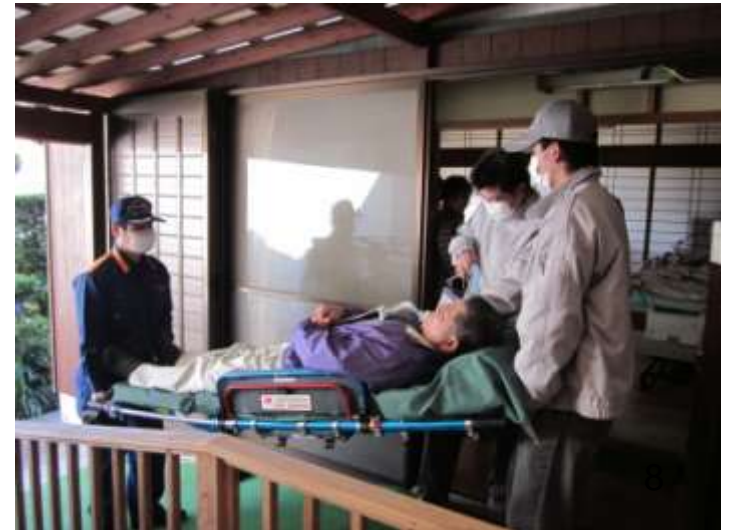
② 救急隊との連携

- ・ 緊急時を想定した搬送訓練

③ 緊急時やレスパイト入院時の受入体制

＊現在までのレスパイト入院暦

- ・ 11/29～12/6
- ・ 1/23～1/30





## 2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

① 医師会会員への訪問活動

② 救急時の受入体制強化

③ 訪問看護ステーションが抱える課題

## 2) -①拠点職員による取組、得られた効果

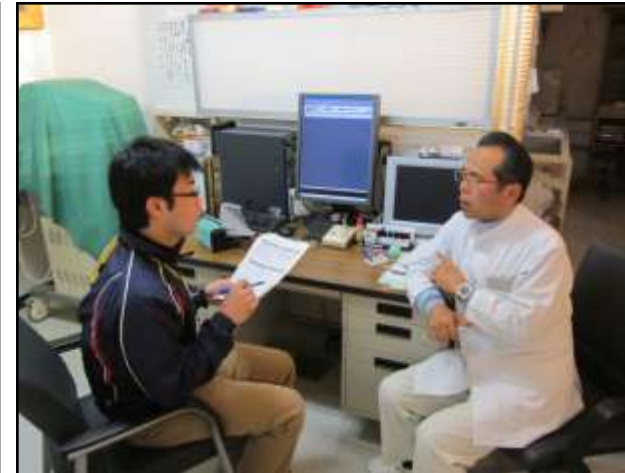
### 医師会会員への訪問活動



津崎医院 津崎貴春 医師



長浜医院 小幡悦朗 医師



大根占医院 山下健治 医師

### 【訪問活動の意義】

**諦めず**に粘り強く相談した結果、在宅療養支援診療所の届出への理解や**町外**への**訪問診療**も行われ、訪問活動の意義を実感した。

## 2) - ②救急時の受入体制強化

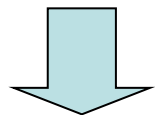
### 在宅療養者を含めた救急時の受入体制

	平成16年	平成19年	平成22年	平成23年	平成24年
常勤医師数	17	11	11 →	9 →	8
臨床研修医 制度改正		呼吸器科1 ⇒0。整形外 科2⇒0		外科4⇒1	
佐多分署 救急搬送 拒否率		6.7%	28%	51%	17.8%

受入体制が課題であったが、**常勤医師の協力**のもと、**受入が改善**されてきた。今後も**在宅療養者**を含め受入体制の**強化**を図る。

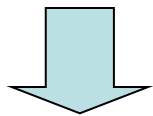
## 2) -②訪問看護ステーションが抱える課題

『在宅医療に必要な医療材料は指導管理料に含まれ算定し医療機関が患者・家族へ直接支給する』となっている

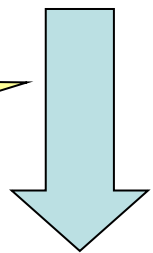


しかし・・・

**患者・家族へ支給されないことがしばしばある**



**ステーションの持ち出しケースがある**



各医療機関への訪問活動を継続し、ステーションが持ち出す件数が減少してきた（負担軽減）。



### 3) 効率的な医療提供のための多職種連携

#### ①拠点職員による社会資源開拓活動

### 3) - ③拠点職員による取組、得られた効果

## 社会資源の開拓作業

【訪問入浴サービス】

**町外**へのサービス拡大



過疎、高齡地域を  
抱える**行政間の協  
力体制**が可能と  
なった

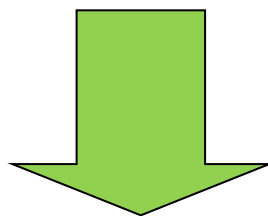


### 3) - ③拠点職員による取組、得られた効果

#### 社会資源の開拓作業

**地域に吸引講習を終了したヘルパーがいない**

拠点より**全ヘルパー事業所**（3箇所）への働きかけを行い、吸引講習会へ9名受講し3月下旬に取得予定



**新たに地域で吸引処置等要するケースに対応できる体制作りができた**

## 4) 地域住民への普及啓発活動

- ① 相談窓口の設置
- ② 在宅医療パンフレットの配布
- ③ ホームページリニューアル
- ④ 活動報告書の発行、掲示（毎月）
- ⑤ 地域住民への普及啓発活動（毎月）
- ⑥ 在宅医療シンポジウムの開催（3/9）



# ⑤地域住民への普及啓発活動（計9回）

講師：訪問看護ステーション菜の花  
看護師 恒川 美加様



講師：かわごえ薬局  
薬剤師 川越 俊作先生



講師：肝属郡医師会立病院 泌尿器科  
川平 秀一郎先生



肝属郡医師会立病院保健師による生活習慣病指導



## 5) 在宅医療に従事する人材育成

①地域の医療、介護従事者への研修会

(26演題、1,454名)

②口腔ケア実技研修会

# 5) -②口腔ケア実技研修会（年8回）

【対象】地域の医療、介護従事者

【講師】歯科医師、歯科衛生士

＊口腔ケアに関する手技の習得  
（誤嚥性肺炎の予防）

＊障害、認知症があってもおいしく安全に食べる秘訣

講師：神田歯科医院 神田光一先生



講師：歯科衛生士 南蘭 里美様



# 今後の取組

- ①拠点機能の強化及び他地域への面展開活動
- ②在診支との連携による**在宅療養者の受入体制強化**
- ③行政と連携した**地域住民への普及啓発活動**の推進
- ④**認知症ケア**に対する地域での早期発見仕組作り

# 拠点機能を生かした新たな取り組み

## 【地域の課題】

認知症ケアに対する地域での取組がない

## 【目的】

拠点機能を活かし、市町村、地域住民、関係機関と連携し、認知症ケアに対する早期発見システム作りを目指す

## 【多職種認知症ケアチーム】



## 【活動状況】

- ①拠点、市町村、県振興局による意見交換会（1/25）
- ②拠点による多職種認知症ケアチームの立上を行い、教育研修プログラムを計画し、実施中（1/30～）
- ③連絡協議会にて課題と解決策について協議（2/26）

# 医師会立病院（郡医師会）が拠点なる効果

◆**地域包括ケアシステム**の重要性を改めて認識し、医師会の理解、協力がなければ市町村主体で取り組むことの難しさを実感した。**当医師会が拠点**となることで、連携の図りにくい医師会や多職種からも協力体制が得られやすくなった。

◆**人材、資源が乏しく高齢化**が進行する地域だが、医療依存度の高いケースやターミナル期であっても在宅を望んだ時に支える体制作りを実現する為に関係機関を巻き込むことで解決出来ることを実感した。  
また**限られた機関しかない**からこそ**団結力**や**責任感**が強いことを実感し、多職種が一堂に会する会は**地域興しの一助**を担っていることを痛感した。